

こちら地域医療連携室



医師が少ないということ (その2)

医師派遣が実現されない理由と大学の事情について今回は話します。これは、平成16年から始まった医師の研修制度の義務化に端を発しています。卒業研修が義務になり、新米医師は研修病院先を決める場合に、自分の希望と病院が出す条件でコンピューターが決める「マッチング」という制度を利用します。これにより、これまで70%以上が大学での研修でしたが、今年春は48%程度に落ち込んでいるのです。大学が選ばれなくなった原因として、市中病院の方が生活便利な都会だったり、研修内容や設備も立派で、忙しくとも多くの技術や病気の勉強ができ、給料を含めた条件も良いことがあります。

一方、大学は給料も安く、研修後、各専門の医局で大学院生(医師ですが学生)となっても、本業以外の雑用が多く、診療をしても給料をもらうどころか、逆に授業料を支払わなければなりません。研修医時代には出た給料が出ないので、疲れても週末、休息や家族サービスではなく、当直をして学費と生活費を得ているのです。ですから、最近では大学で博士号を取るより、市中の病院で研修して給料をもらいつつ専門医資格を取ったほうが実際役立つし、生活の質が良いと考える医師が多くなっています。

しかし、大学が敬遠され医師が少なくなると医学研究

が進まず、医療レベルが下がることとなります。ましてや地方に派遣する医師の余裕など全くなくなります。逆に、大学を支えるため、または医療と医師の集約化のため、地方の病院から医師を引き上げねばならないという構図があるのです。10月19日現在で大学病院の充足率は弘前大、岩手医大、秋田大が30%以下でした。これでは大学からの派遣医師で成り立っているほとんどの地域医療は、崩壊が当然です。これに産婦人科や小児科の過酷な労働と、すぐ訴訟になるような厳しい市民の権利意識のため、志望医師もいなくなることが追い討ちをかけているのですから。

今われわれは、この現状をとらえ地域医療を考える必要があります。大学からの医師派遣を期待できない状況で、お金は出したいけど24時間必要な医療を受けたいという発想は、100円しかないけどフランス料理のフルコースが食べたいと言うのと同じだと思いませんか。せめて市民皆さんの正しい理解のもと、市の医療予算を確保し、登米市の医療環境の整備を考えたいものです。

地域医療連携室 室長 千葉正典 (内科医師)

【問い合わせ】 市立佐沼病院 地域医療連携室
☎ 0220 (22) 5511(内線215) FAX 0220 (20) 7122

健康 & 福祉

1月の保健カレンダー

※時間は受付時間

迫		登米		東和	
迫保健センター ☎0220 (22) 5554		登米総合支所市民福祉課 ☎0220 (52) 5054		東和総合支所市民福祉課 ☎0220 (53) 4112	
11(木) 肝炎ウイルス検診	9:00~12:00	10(水) わいわい広場	10:00~11:30	22(月) なんでも健康相談	9:00~11:00
12(金) 結核・肺がん未検者検診	13:30~16:00	15(月) 健康(栄養)相談	8:30~11:30	23(火) こころの相談(要予約)	13:30~15:30
15(月) 子育て開放日・栄養相談日	9:30~12:00	24(水) わいわいサークル	10:00~11:30		
16(火) 離乳食教室(7カ月児)	8:30~9:30	30(火) こころの相談(要予約)	13:30~14:30		
18(木) こころの相談(要予約)	13:30~16:00				
中田		豊里		米山	
中田総合支所市民福祉課 ☎0220 (34) 2311		豊里総合支所市民福祉課 ☎0225 (76) 4113		米山総合支所市民福祉課 ☎0220 (55) 2112	
15(月) 1歳6カ月児健診(H17年6月生まれ)	12:30~12:45	12(金) 何でも健康相談	9:30~11:30	9(火) 健康相談	9:00~11:00
23(火) こころの相談(要予約)	13:30~15:30	こころの相談(要予約)	13:15~17:00	23(火) 2歳児歯科健診	12:45~13:00
25(木) 2歳児歯科健診(H16年12月・H17年1月生まれ)	13:00~13:10	25(木) 離乳食相談	9:45~10:00	25(木) こころの相談(要予約)	9:30~15:00
		2歳児歯科健診	13:00~13:15		
石越		南方		津山	
石越総合支所市民福祉課 ☎0228 (34) 2112		南方総合支所市民福祉課 ☎0220 (58) 2113		津山総合支所市民福祉課 ☎0225 (61) 5011	
11(木) こころの相談(要予約)	10:00~15:30	11(木) こころの相談(家族相談)	要予約	12(金) あそびの広場(開放日)	9:30~11:00
12(金) 男の料理教室	9:00~9:30	第4回南方もっこり元気講座	13:00~13:30	22(月) 健康相談(フィットネスルーム)	9:30~16:00
15(月) 健康相談	9:30~15:30	大腸がん検診検体回収	午前中(公認給食長)	26(金) あそびの広場(開放日)	9:30~11:00
25(木) 元気いしこし講座⑥	9:30~10:00	健康相談(断・南・給支所)	9:00~16:00	31(水) 2歳児歯科健診	13:00~13:15
		25(木) こころの相談(医師)	要予約		

不明な点は、各総合支所市民福祉課健康づくり係までお問い合わせください

ノロウイルスなどによる 感染性胃腸炎の感染警報発令

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、1年を通して発生はみられますが、11月から発生件数が増加しはじめ、12月から1月にかけてが流行のピークです。

今年はここ数年でもっとも早い流行の立ち上がりとなっています。嘔吐(吐くこと)、下痢、腹痛などの症状が見られる場合は早めに受診しましょう。

◆市内の感染性胃腸炎の発生状況は

県で1週間ごとに発表している感染症発生動向調査によると、登米保健所管内では11月27日の週から警報基準値を超えており、12月4日の週からは、県内全体で警報基準値を超えました。

◆感染から発症するまでの期間は1~2日です。

◆**どんな症状がでるの**
吐き気、嘔吐(吐くこと)、下痢、腹痛があり、発熱は軽度です。感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もありますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化することもあります。

◆**どうやって感染するの**

- ①調理する人が感染しており、その人を介して汚染した食品を食べた場合。
- ②汚染された食品(貝類など)を生あるいは十分に加

熱調理をしないで食べた場合。

③感染者のふん便や吐物から二次感染した場合や、家庭や共同施設など、人同士の接触が多いところで人から人へ直接感染するケースもあります。

予防のポイント

- ①せっけん流水でよく手を洗いましょう。
- ②調理器具の洗浄、加熱消毒をしましょう。
- ③感染した人の便や嘔吐物(吐いたもの)には素手では触れないようにしましょう(使い捨て手袋・マスクを着用して行う)。
- ④食品は十分加熱して食べましょう(中心温度85℃・1分以上の加熱)。

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116

障害者就業相談のお知らせ

- 【相談日】 1月23日(火)
【場所・時間】 迫総合支所 午前10時~正午
 県登米保健福祉事務所 午後2時~4時
【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課 市民福祉係へ申し込みしてください。
【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 ☎ 0220 (58) 5551
 各総合支所市民福祉課 市民福祉係

1月の休日当番医

休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)			
1/7(日)	よねやま病院	米山町	☎0220 (55) 2011
8(祝)	上杉皮膚科医院	迫町	☎0220 (21) 1380
14(日)	川村医院	登米町	☎0220 (52) 2166
21(日)	新田診療所	迫町	☎0220 (28) 3398
28(日)	島医院	南方町	☎0220 (29) 6056
2/4(日)	豊里病院	豊里町	☎0225 (76) 2023
診療時間 9:00~17:00 休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)			

母子健康手帳の交付・妊産婦相談

毎週月曜日 8:30~11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。上記以外においでの際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も随時、受け付けています。

大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください



1/5(金)	津山ふれあいセンター	10:00~12:00	全血
	豊里健康管理センター	13:30~16:30	
14(日)	イオン(株) ジャスコ南方店	10:00~12:00 13:00~16:00	全血
24(水)	迫リコー(株) ヨークベニマル佐沼店	10:00~13:00 14:30~16:30	

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116